

活動日	場所・時間	活動内容等
17日(日)	<集合> 9:30 大宮公園駅前 <解散> 12:00 土呂駅	<b>○自然観察 「梅雨に潤う盆栽村から土呂の見沼田んぼへ」</b> ・持ち物：帽子、双眼鏡、セロハンテープ、水筒、雨具 ※雨天決行 <u>申し込み、6月12日(火)まで</u>
24日(日)	さいたま市 青少年宇宙科学館 入り口 9:45	<b>○さいたま市青少年宇宙科学館30周年記念事業への参加</b> 1 記念式典 10:15 青少年宇宙科学館 プラネタリウムホール 2 プラネタリウムリニューアルオープン 若田光一の世界 11:05 (YAC 団員、保護者無料) 3 JAXA 講演会「不思議いっぱい 宇宙食のひみつ」 PM1:20 宇宙科学館ホール ・持ち物：YAC の青い帽子、午後のイベント参加者は、昼食の用意をしてください。 ※当日、駐車場の確保ができませんでした。浦和駅、北浦和駅のバスをご利用ください。 ※青少年宇宙科学館へのバスでのアクセスマップ (別紙参照) <u>申し込み、6月17日(日) 18:00まで (YAC 団員は、当日ご招待です。)</u>
30日(土)	宇宙劇場 5F 1・2 集会室 17:45	<b>○プラネタリウム鑑賞 「火星大接近」</b> 宇宙劇場のプラネタリウムで過去の火星大接近の様子を再現します。 ※プラネタリウム料金は、団員無料ですが、付添の方は、大人 610 円、小人 300 円です。 <u>申し込み、6月24日(日)まで</u>
7月1日(日)	宇宙劇場 5F 1・2 集会室 14:00	<b>○水ロケットづくり</b> ・持ち物：ハサミ、定規、新聞紙1枚、ペットボトル1. 502本 (炭酸用の硬い物、角型、お茶・ミネラル用は不適) <u>申し込み、6月24日(日)まで (水ロケットキット注文のため厳守)</u>

## ○天体観望会「月と金星と木星」

5月19日(土)は、団員27名、体験14



名、保護者等31名、計72名が参加して、今年度2回目の天体観望会が行われました。活動の始めは、加藤分団長がプロジェクターを使って、金星の満ち欠けなどについて詳しく説明をしてくださいました。その後、高学年、中学生の子ども達を中心にしたグループに分かれ天体望遠鏡を組み立てました。子ども達は、グループごとに観察

場所を決め、観察をスタートさせました。当日



いました。

は、木星のガリレオ衛星が4つきれいに並んで見えまして、子供たちによっては、「縞模様も見えた!」という子も

当日、ご指導いただきました加藤分団長、支えてくださった大和田、神田、山岸の各リーダーの皆様ありがとうございました。

## ○平成30年度日本宇宙少年団 さいたま支部評議員会



5月27日(日)宇宙劇場5階集会室で平成30年度の日本宇宙少年団さいたま支部評議員会が開催されました。

平成29年度の活動報告・決算報告、30年度の活動計画・予算案・評議員の変更等について審議し、原案どおり承認されました。



また、総会終了後、平成29年度に茅ヶ崎市で行われた「宇宙飛行士ゆかりのまちサミット」で発表した活動報告を矢作太一さんの司会で、尾崎幹規さん、若井優吾さん、佐久間譜有さんが発表してくれました。最後に辻紅那さんが「ロボットを使ってプログラミングをしよう」の感想文を発表しました。中学生のみなさん、新学期の忙しい中ありがとうございました。

評議員の皆様には、これからもYACさいたま支部の活動をご支援いただきますよう、よろしく願い申し上げます。

### ○アルソミトラって何？



総会終了後、75名が参加してオルフェス分団の活動が行われました。最初に中村誠リーダーからアルソミトラについて説明がありました。その後、アルソミトラ飛行機を実際に作って飛ばしてみました。羽

の形やシールの重さとのバランスを各人工夫して飛ばしていました。こんな簡単な仕組みなのに、よく飛ぶアルソミトラと全く飛ばないアルソミトラがあっておもしろいな！という声が聞かれました。

### ☆6月の星空カレンダー

6月は、雨の日が多いので、少ないチャンスを大事にしたいものです。

- 6月 7日 下弦
- 6月 11日 入梅
- 6月 14日 新月
- 6月 19日 海王星が留
- 6月 21日 夏至
- 6月 27日 土星が衝
- 6月 28日 満月

### ☆惑星情報

- 水星 6日外合。上中旬は観察不適。
- 金星 日の入り後、西から北西の低空に明るく輝いている。
- 火星 やぎ座を東に移動。28日に留となり、以降は西向きの動き、留のころは、動きが止まって見える。日の出前に南から南西の空に見える。
- 木星 てんびん座を西に移動。日の入り後、南東から南の空に見える。
- 土星 いて座を西に移動。27日に衝となり、観察の好機。21時頃南東の低空に見え、真夜中に南中。

### ※用語解説

衝：太陽の黄経と月、惑星、小惑星などが他の天体の黄経との差が180度になること。ある惑星や衛星が地球から見て太陽と正反対の位置にくること。  
(内惑星には、衝はない)

### 平成30年7月の活動予定

- 7月 1日(日) 水ロケットづくり (宇宙劇場) 14時
- 7月 14日(土) 水ロケット試射 (荒川彩湖) 10時～
- 7月 21日(土) 水ロケット試射 (予備日)